

演出のガイド

演出のガイド

SE1

SE1 (6秒)

「山猫軒」入り口のかん板、登場。
しんじたちは、ふりかえって、「山猫軒」入り口を見つめます。

しんじ ②
しんじ ①
しんじ ②
しんじ ①
しんじ ②
しんじ ①
しんじ ②
しんじ ①
しんじ ②
しんじ ①
しんじ ②
しんじ ①

①
②
①
②
①
②
①
②
①
②
①
②
①

もすごい山だ。りょうこははれてしまった。
大もだ。まったく。
じつにほくは、二千四百円のそん書だ。
ほくは二千八百円のそん書だ。
ほくはもうもごろうご思ひ。じゅうじゅう。
では帰ろうじやないか。
ごもはらがすいた。
ほくもそうだ。もう、あんまり歩きたくないな。
ああ、何か食へたいなあ。
食へたいもんだなあ。

M1

M1 (1分07秒)

山奥に来てしまったことを表現するために、あたりを大きく見回します。

しんじたち、登場。
歌「ふしぎな山猫軒」

ふしぎな おかしな 山猫軒
森の中 木が鳴わび
風が 草がざわざわ
うごから来たのか へびのE

①
②
①
②
①
②
①
②
①
②
①
②
①



演出
メモ

『注文の多い料理店』 衣装・小道具のヒント

ここでは、登場人物一人一人の衣装や小道具の例を掲載しています。
このヒントを参考に、自由に工夫してください。



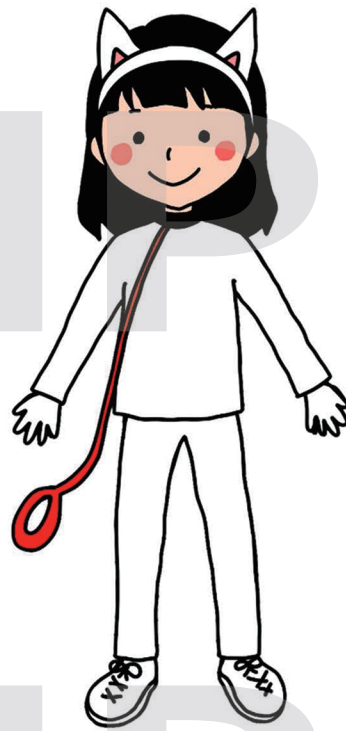
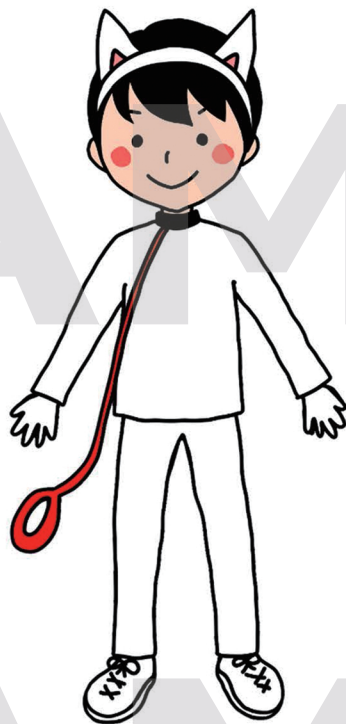
しんし

Yシャツ、ネクタイ、長ズボン、コート、ベルト、
長靴またはブーツ、帽子、めがね。
鉄砲を肩にかける。



りょうし

Yシャツ、長ズボン、チョッキ、
長靴またはブーツ、帽子、ひげ。
鉄砲を肩にかける。



犬

白いロングTシャツ、ズボン、靴、てぶくろ。
首輪と耳をつける。

M2「お入りください」	M1「ふしぎな山猫軒」
<p>・「どなたも～」 右左にゆっくり揺れる。</p> <p>・「お入りください」 おいでおいでのような動きをする。</p> <p>・「間奏部分」 音楽に合わせて、両手を腰にあてて右足から前に一歩進んで、右足から後ろに戻る。肩を2回上げ下げ、右足のかかとを右側に出して戻す、左足のかかとを左側に出して戻す。 紳士はゆっくりしゃがむ。</p> <p>・「さあさあ～」 看板1と入り口は大きく揺れる。</p> <p>・「お入りください～」 紳士は立ち上がり、全員で4回おいでおいでをしながら前に出ていく。5回目は両手で大きくおいでをして全員で後ろに下がっていく。</p> <p>・「アウトロ部分」 紳士は間奏部分の動きの、肩を上げ下げまでやったら2人で顔を見合わせる。</p>	<p>イントロを少し聞いたら、紳士2人が上手から出てくる。定位置に着いたら足踏みをする。</p> <p>・「どこから～」 足踏みをしながら、右手をパーにして前から上を通り右後ろに回して下ろす。左手も同様に。</p> <p>・「風が～」 両手をパーにして下から回して両腕を横に伸ばして止まる。ざわざわするように右腕から左腕へ4回波をつくる。</p> <p>・「どこへ～」 少し腰を落として左手は腰に、右手はおでこにあてて探すようなポーズで左から右をじっくり眺める。</p> <p>・「ふしぎな～」 2人で向き合って両手をつなぎ、腕を客席側に揺らす。</p> <p>・「おかしな～」 今度は舞台の奥側に揺らす。</p> <p>・「山猫軒」 手をつないだまま客席側からくるっとひっくり返る。</p> <p>・「注文の多い～」 両手をパーにして、顔の横や頭の上などいろんなところに右左交互で手を4回出す。両手をキラキラさせて腕を上伸ばす。</p> <p>・「料理店」 左手を腰にあて、右手で山猫軒を指差すように、斜め右方向に人差し指を突き出してポーズ。</p>

このヒントを参考に自由に工夫してください

